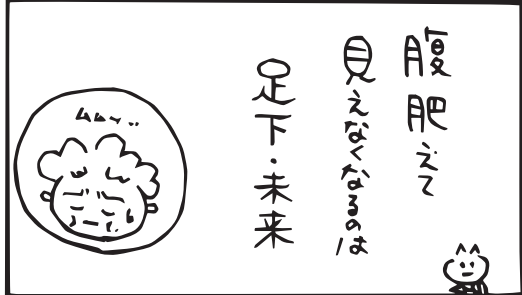
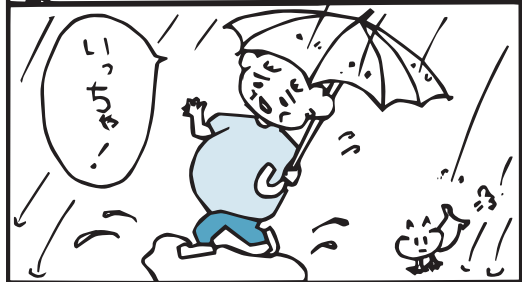


ほろけん

132 メタ子さん



薩摩郷句

兼題「鼻」

似た鼻がずらつ並るじよい家族写真

(唱) 一人どま違た奴が居るそなもんじや

北村虎王

高け鼻がキッスん形を変えさせつ

(唱) そんないなればいけなごでんしやんそ

一見愚楽満

残い香が鼻い訪つた涼し美人

(唱) まこて良か香着つ行ここあつ

西ノ園ひらり

鼻ねかけた大学出ん子い職が無し

(唱) こん頃ら鼻が低くなつたごつあつ

上村牛歩

爺様似で鼻も高高通信簿

(唱) 爺様も喜くと頭ごん撫でかた

諸木小春

大崎短歌会

兼題「筆 ペン 鉛筆」

4Bの鉛筆の芯のやさしさに
おのず生まれくるをりをりのうた

原田葉子

孫達の使い残しの鉛筆を
あれこれ選び楽しみけずる

穂園芳江

穂園芳江

削られゆく赤き鉛筆見つめいぬ
忘れられない父の指先

長重悦子

長重悦子

菩提寺の落慶近き母の忌に
観音ゑがき寄進奉る

溝口 稔

溝口 稔

名歌をと構え八段エンピツを
六本削つて一字も書けず

宮原のり

宮原のり

大崎俳句会

山藤や走る車窓にみえかくれ

内田ちどり

月明りほのかに白し茅花の穂

新小倉初子

春暁の鶏鳴聞けり旅の宿

三浦倫子

柏餅そえて給食来たりけり

溝口 稔

しづしづと踏み入れ歩む花筵

桑原正樹

叔父の家更地となりて春の月

餘利野静子

鍋ひとつ焦がす電話や花ぐもり

中崎ハナエ

鍋ひとつ焦がす電話や花ぐもり

中崎ハナエ

まちづくりに役立っています

サマージャンボ宝くじ

今年も「サマージャンボ宝くじ」(市町村振興宝くじ)が1枚3000円で、全国之宝くじ売り場で発売されます。

この宝くじの収益金は、市町村が行なう公共事業などの地方債資金として、明るく住みよいまちづくりに使われます。

■発売期間 平成20年7月14日(月)～8月1日(金)

■抽選日 平成20年8月12日(火)

■当選金

▼1等 2億円(40本)

前後賞 5000万円

組違い賞 10万円

▼2等 1億円(80本)

▼3等 1000万円

▼4等 50万円

▼5等 1万円

▼6等 3000円

▼7等 300円

ジャンボ30周年記念賞 3万円

今年のサマージャンボは、億万長者が120人!

※昨年のサマージャンボ宝くじ(第5206回全国自治宝くじ)の時効は平成20年8月20日(水)ですので、お忘れなく。